

2022国際シンポジウム

東アジアの家庭教育に見る文化伝達と家族戦略の変容

【日時】2022年12月23日(金) 14時30分開場 14時45分—18時

【場所・開催方法】早稲田大学(東京都新宿区・早稲田) 国際会議場第2会議室
(会場は参加人数により変更となる場合があります。)

*対面・オンラインZoom併用配信 オンラインは要事前申し込み

第一部14時45分～16時15分 「日本の家庭教育—東京・北海道・東北の事例から」

開会挨拶 新保敦子(早稲田大学教育学部教授・社会教育、家庭教育)

報告 1 総論—はじめに 新保敦子

2 東アジアにおける幼児教育—〈教育する家族〉の振り返りから
一見真理子(国立教育政策研究所元総括研究官 お茶の水女子大学客員研究員,
比較教育学・教育史、保育学)

3 家族戦略の変容—北海道東川町の移動する家族
高橋 均(北海道教育大学教授・教育社会学)

4 戦後日本における家族と子育ての変容—東京都荒川区を事例として
新保 敦子

5 女性の語りに見る文化伝達とジェンダー変容
天童 睦子(宮城学院女子大学一般教育部教授・女性学、教育社会学)

休憩(16時15分～16時30分)

第二部16時30分～18時 「東アジアの家庭教育—国際比較の視点」

6 韓国における変容する家族—3世代比較から 李恩珠(韓国・明知短期大学専任講師)

7 中国における「教育する家族」—3世代比較から 朱奕雷(早稲田大学大学院)

8 東アジアにおける家庭教育と文化伝承—日本、中国、台湾、韓国の三世代比較から
新保 敦子

ゲスト・コメンテーター 李正連(東京大学教授・社会教育、東アジア教育研究)

質疑応答・総括討論

閉会挨拶

【主催】「東アジアの家庭教育と文化」研究会 代表 新保(小林)敦子

*本国際シンポジウムは、科研費・基盤研究(C)「東アジア地域における家庭教育と規範的文化の継承に関する国際比較研究」(研究代表者 新保(小林)敦子)によるものです。

【申込・問い合わせ先】

*問い合わせメールアドレス:kobayashiatsukozemi2017@gmail.com

*参加希望の方は、QRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/5DxaVrSi9IQ94Ej29>

